

2017年2月28日



「DBJ 環境格付」「DBJ BCM 格付」を取得

株式会社フジ(本社:愛媛県松山市、代表取締役社長:尾崎 英雄、以下「フジ」という。)は、このたび、株式会社日本政策投資銀行(代表取締役社長:柳 正憲、以下「DBJ」という。)による「DBJ 環境格付」および「DBJ BCM 格付」を取得しその融資制度の適用を受けました。

「DBJ 環境格付」「DBJ BCM 格付」は、DBJが開発したスクリーニングシステム(格付システム)により、企業の環境経営度や防災・事業継続への取り組みを評点化、優れた企業を選定し、その評価に応じて融資条件を設定する世界で初めての融資メニューです。

フジは今後も、事業継続性の強化をはかり、大規模災害等の災害が発生した場合にはライフラインとしての役割を果たすとともに、様々な環境保全活動を通じて地域に貢献してまいります。

【DBJ 環境格付評価点】

- (1) 食品リサイクル方針を掲げ、店舗における食品廃棄物の再資源化技術を利用して食品リサイクルループを構築し、地域における循環型農業の促進に貢献している点
- (2) 独自のエコストア制度に基づく省エネ機器の導入や、BEMS を通じたエネルギー消費の見える化といったハード面に加え、ソフト面においても、パート・アルバイトも含めた従業員への環境教育を徹底し、両面から店舗における環境負荷低減に努め、確実に数値改善している点
- (3) 食育活動等の地域住民に対する環境学習の場の提供に加えて、移動スーパー、インターネット注文等の買い物支援サービスや、防災体制の強化による災害に強い地域づくりを通じて、地域住民の豊かな暮らしへ貢献している点

【DBJ BCM 格付評価点】

- (1) 年4回の防災訓練を徹底し、300名を超える防災士の資格取得者を中心とした店舗毎の防災体制の構築に加え、自治体の主催する大規模防災訓練に参加するなど、地域防災力の向上に貢献している点
- (2) 災害時用通信機器として、衛星携帯電話に加え、被災リスクの高い店舗から順次 MCA 無線を導入していることに加え、同時被災リスクのない外部データセンターを活用し、システムリスクへの対応を行うなど、有事の際の通信インフラ確保を進めている点
- (3) 対策本部における各業務の具体的な手順を示したマニュアルを用いた対策本部設置訓練と併せて、店舗と連携して災害時通信機器を利用した情報伝達訓練を実施するなど、独自の訓練に取り組んでいる点

以上